

リレーインタビュー

矢板の未来を紡ぐ

（津久井石材店）
津久井政邦さん



大正元年創業、100年続く津久井石材店の4代目。矢板市商工会青年部で、青年部長を務めていました。スポーツ大好きで足が速く、作新高校陸上部の時、追い風参考記録ながら100m 10秒98という記録を出したことも…。「消防団・野球など、地域の活動を一緒にやっている良き先輩です」と、前号の江連仁さんからの紹介です。

高校卒業後、すぐには家業を継がず、知り合いのついで、宇都宮にある店舗の内装関係の会社に勤め営業の仕事を一年間。そこにはある思いが…。

■家業を継ぐ前にある時、父と母が、「営業の人間を雇ったらどうだろうね」と話しているのを聞いていたこともあり、職人としての技術は家業を継ぐとき父に教わればいいことだし、その前に営業で人と人とのかわり方を勉強したいと思いました。きつと、役に立つと思つて…。

つに伺います。ご不幸があつた訳ですから難しいアプローチですが、意を尽くして説明させていただきまます。ときどき「津久井さん来てくれたんだ」と言われたりすると、うちのことを知っていてくれたんだと安心し、うれしくなります。ですから、営業というのは、長く、数多くお付き合いさせていたただいたお客さまとの間で培ってきた信用と実績を根本にして、お客さまに必要な情報を伝えることだと思つていきます。

■課題にぶつかった時こそ、人との関係が大事になつてくる陸上をやつていたころ、記録が伸びなくなつた時がありました。そんな時は、走り方を変

える、コーチに教わる、筋肉のつきかたを変えらるなど、試行錯誤しながら進んでいくしかありません。そして、そ

んな時こそまわりの人の助けが必要で。先輩、コーチ、監督との信頼関係が大きな力になつたように、社会に出ても、困つた時には商工会青年部の先輩の方々が何でも必ず相談に乗つてくれて、大きな安心感がありました。

人と人のつながりが挑戦する力になつていく 一人一人の思いをきちんと受け止めたい

加するための組織と情報発信することができると、その違いは地域差ではなく人の差ではないかと…。

例えば栗野町の商工会青年部は「いい条件とは言えませんが、活動は活発で、何か新しいものと考え、地元で取れる木材をいかしたまちづくり」というコンセプトで椅子などを製品化していきながら、「仲間意識や信頼関係が全然違つ

やっぱり人が大事なんだ」と思いました。そこで、矢板でも、もっと積極的に活動するために、まずは会議の全員参加を呼びかけました。参加しない人を一人一人訪ねて理由を聞くと、口をそろえて「忙しいから」と…。

■組織はやっぱり人だと思ひます 青年部で、いろいろな地域の人たちと交流して感じたことは、組織には二種類あるということでした。ただ参

ひ参加してほしい」とお酒を飲みかわす機会を作るなどして、徐々に参加する人が増え、仲間意識が高まつていきました。

■京都で矢板を売り込む 毎年一月に京都の清水寺の参道にある「順正（じゅんせい）」という豆腐屋さんと桂三枝さんの司会進行で豆腐の早食い競争などのイベントが開かれるのですが、店の外では全国十カ所ほどの地域から参加した団体が、

それぞれの地域の名産品などを販売してあります。商工会青年部でも、りんごジュースや苗木などを持参してPRに努めています。そういう集まりに参加し、他県の人と交流する中で、お祭りなど各種イベントを成功させた話を聞きながら、ふつと「矢板でも…」という気持ちが出てきました。

みんなで集まればたくさんの智恵がある。せ

■矢板の商店が生き残るためには 「常に何かを試みてみる」ということがとても大事なことで、仲間意識が大切です。そのモチベーションを維持していくには、後継者がいるということが一番大きな要素かもしれません。

次の代の人があることと思ひ切つたことのできる。後継者のいないところはなかなかリスクをとれませんが時代に合わせて変化していくということは難しいかもしれません。

商店街の活性化を考えると、経営者の手腕だけではすまされないので、若人が矢板に残る、戻ってくるようにならなければならない。

■若い人たちの熱い思いを応援したい！ 商工会青年部は親が商工会に入っていないけれどメンバになることができませぬ。しかし、青年部に入っていないけれど商売をして二十代の若い人たちと話していると、時々自分たちの思いをぶつ

かけてくることあります。「少し違うことをやりたい」「経済的な問題を何とか乗り越えたい」「親の説得が難しい」など、いろいろな悩みや課題を抱えています。そんな若い人たちの考えていることを聞き、チャレンジするための手法や道筋を一緒に考えるための場を何とかして作れないものかと思ひます。そうする中で、青年部との交流の機会を作り、青年部自体も活性化していきけるのではと思ひます。



■市民力とは？ さまざまな人と関わる中で、「人の意見をきちんと聞く。自分の考えだけをまことめない。柔軟に考える」ことがとても大事だと思つたようになります。ですから、市民力というのは、一人一人違う考え方があつたことを前提に、一人一人の意見を大切に、お互いに話を受け止めるという姿勢を持つことではないでしょうか。

